

- 問1 中国山地と四国山地に挟まれた瀬戸内海沿岸の地域では、一年を通じて温暖で降水量が少ない気候が見られます。このような気候の特徴が生じる理由として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 岐阜県公立入試 類似）
1. 周囲を高い山に囲まれているため、冬に日本海側から流れ込む湿った空気が大雪をもたらすため
 2. 一年中安定した偏西風が吹くことで、季節による天候の変化や降水量の変動がほとんど起こらないため
 3. 夏はシベリア高気圧の影響で乾燥し、冬は太平洋を流れる寒流の影響で気温が上がりにくい
 4. 夏の南東季節風が四国山地に、冬の北西季節風が中国山地にさえぎられ、湿った空気が入りにくい
- 問2 中国地方5県の人口密度を示した統計において、密度が高いことを示す網掛けがなされている広島県、岡山県、山口県の地理的な共通点として適切なものはどれか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）
1. すべて瀬戸内側に位置しており、交通や産業が発達している。
 2. すべて日本海に面しており、冬の積雪が非常に多い地域である。
 3. すべて山陰地方に位置しており、広大な平野を活用した農業が盛んである。
 4. すべて内陸の中国山地に位置しており、林業が主な産業となっている。
- 問3 四国地方の北部に位置する香川県の讃岐平野において、土地利用の大きな特色となっているものはどれですか。この地域の自然環境を踏まえて選びなさい。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 農業用水を確保するために、人工的に造られた「ため池」が数多く分布している。
 2. 冷涼な気候を利用して、レタスやキャベツなどの高原野菜の栽培が盛んに行われている。
 3. 成田国際空港があり、航空貨物の輸送や国際的な物流の拠点となっている。
 4. 自動車の生産額が全国1位であり、沿岸部に大規模な自動車工場が集積している。
- 問4 高知県ではなすの生産が盛んですが、東京市場におけるなすの卸売価格が「夏に安く、冬から春に高い」という傾向がある中で、高知県が冬から春に出荷を集中させている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）
1. 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため
 2. 高知県の冬の寒冷な気候を利用して、時間をかけてゆっくりと育てることで、なすの品質を向上させるため
 3. 夏は台風の被害を受けやすいため、あえて価格の安い冬から春の時期に生産時期をずらして安定供給を図るため
 4. 冬から春はなすの需要が大幅に減少するため、供給量を増やすことで市場価格をさらに下げ、消費を拡大させるため
- 問5 中国・四国地方を「日本海に面する地域」「瀬戸内海に面する地域」「太平洋に面する地域」の3つに区分したとき、鳥取県が分類される地域の説明として最も適切なものを選びなさい。（2026年 大阪府公立入試 類似）
1. 兵庫県から広島県にかけて続く、大規模な工業地帯が形成されている地域。
 2. 本州と四国の間に広がる波の穏やかな海に面し、交通網が発達した地域。
 3. 四国山地の南側に位置し、黒潮の影響で年間を通じて温暖多雨な地域。
 4. 中国山地の北側に位置し、冬には雪が降りやすい日本海側の地域。
- 問6 香川県の讃岐平野では、「大池」や「新池」といった名称の池が平野部に数多く散在しています。これらの池は「ため池」と呼ばれますが、この地域でため池が古くから多く作られてきた理由として最も適切な説明を選びなさい。（2025年 茨城県公立入試 類似）
1. 中国山地と四国山地に挟まれて季節風が遮られるため、年間を通じて降水量が少なく、農業用水が不足しやすいから。
 2. 標高が海面よりも低い土地が多く、高潮による塩害を防ぐために真水を蓄えておく必要があったから。
 3. 大規模な河川が平野部を流れておらず、雪解け水を利用することができないため、地下水を汲み上げる必要があったから。
 4. 年間を通じて台風の通り道にあたり、一時的な豪雨による洪水被害を防ぐための遊水地として機能させる必要があったから。
- 問7 鳥取県付近から南下し、岡山県・香川県付近を通過して愛媛県方面へと向かうルートを移動する際に観察できる、中国・四国地方の景観の移り変わりとして最も適切なものはどれですか。（2014年 沖縄県公立入試 類似）
1. 鳥取砂丘から、瀬戸内海沿岸の石油コンビナートや瀬戸大橋を通り、愛媛県のミカン畑へ続く景観
 2. 雪の多い山岳地帯から、ビニールハウスによる促成栽培が盛んな平野を通り、真珠の養殖筏が並ぶ入り江へ続く景観
 3. 広大な干拓地から、日本有数の製鉄所が並ぶ工業地帯を通り、太平洋に面した茶畑へ続く景観
 4. リアス海岸が続く沿岸部から、巨大なカルデラをもつ火山群を越え、シラス台地の広がる平野へ続く景観
- 問8 四国地方の愛媛県における農業産出額の構成には、他の都道府県と比べて際立った特徴があります。統計資料において、産出額全体の約3割を占め、愛媛県が全国有数の産地として知られている品目はどれですか。（2020年 岩手県公立入試 類似）
1. 米
 2. 果実
 3. 野菜
 4. 畜産
- 問9 本州四国連絡橋の各ルートと、それらが結ぶ都道府県の組み合わせとして、適切なものはどれですか。（2024年 和歌山県公立入試 類似）
1. 神戸・鳴門ルート — 大阪府と徳島県
 2. 瀬戸大橋ルート — 兵庫県と香川県
 3. 尾道・今治ルート — 山口県と愛媛県
 4. 児島・坂出ルート — 岡山県と香川県
- 問10 兵庫県神戸市と淡路島を結ぶ世界最大級の吊橋である明石海峡大橋の開通によって、徳島県と関西圏間の交通は劇的に変化しました。この橋が1998年に開通した後の統計で見られる、正しい変化を選びなさい。（2024年 埼玉県公立入試 類似）
1. 淡路島を経由する鉄道が開通したため、大阪方面への通勤・通学者の輸送人数が増加した。
 2. 200万人以上いたフェリー・旅客船の輸送人数が、数年で50万人以下へと激減した。
 3. 神戸・徳島間のフェリーの所要時間が短縮されたことにより、旅客船の輸送人数が過去最高を記録した。
 4. トラック輸送のコストが上昇したため、貨物船による物資の輸送人数が大幅に増加した。
- 問11 香川県を含む四国地方では、本州四国連絡橋の整備によって地域経済や人々の生活が大きく変化しました。1980年代後半以降、香川県への観光客の交通手段が船舶から自動車へと劇的にシフトした最大の要因として、最も適切な記述はどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）
1. 高松空港の整備により、全国からの航空路線の便数が増えたため
 2. 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が道路で直接結ばれたため
 3. 鉄道の高速化が進み、寝台特急などの利用者が増えたため
 4. 瀬戸内海での船舶事故を防ぐため、定期船の運航が全面的に廃止されたため
- 問12 四国地方の東部に位置する徳島県の産業構造において、統計資料上、就業者割合が25.3%と高い数値を示し、全国平均と比較しても盛んであるといえる産業分野はどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 都市機能の集中による情報通信業
 2. 果樹栽培や水産業を主体とする農林水産業
 3. 化学工業などの分野を中心とした製造業
 4. 観光資源を活かした宿泊・飲食サービス業